

兵衛だより



理事会報告

第2回 理事会

令和4年7月9日(土) 13:30 ~ 16:00

- (1)協議事項
 - 令和5年度予算に関する要望書案について、令和5年度基金事業案について
 - 定款及び諸規則の変更について、賛助会員について、新入会員承認について
 - 60周年記念事業について、理事・委員・職員の傷害保険について、その他
- (2)報告事項
 - 会務報告、会議報告、事業報告、委員会報告、会計報告
 - 歯科衛生士勤務等実態調査報告書について、兵庫県歯科衛生士センター事業について、その他
- (3)その他
 - 役割分担、会員発送、その他



第3回 理事会

令和4年9月10日(土) 13:30 ~ 16:00

- (1)協議事項
 - 60周年記念誌作成の準備委員会について、賛助会員について、本会事務職員の募集について
 - 新入会員承認について、その他
- (2)報告事項
 - 会務報告、会議報告、事業報告、委員会報告、会計報告
 - 令和5年度予算に関する要望書の提出について、令和5年度基金事業案の提出について
 - 令和4年度兵庫県歯科衛生士センター事業案について、介護人材確保に向けた市町・団体支援補助事業(基金事業)について、その他
- (3)その他
 - 役割分担、会員発送、その他

会務報告

令和4年

- 5月17日(火) ●第1回(公)神戸市歯科医師会・神戸市保健福祉局・(公)兵庫県歯科衛生士会との連絡協議会
- 25日(水) ●兵庫県保健医療部健康増進課との打合せ
- 29日(日) ●第21回JMATひょうご実務研修会(第5回ロジスティックコース)
- 6月 2日(木) ●健康ひょうご21県民運動推進会議総会
- 3日(金) ●第1回兵庫県医療職団体連絡協議会
- 4日(土) ●6月三役会、第2回常務理事会
- 6日(月) ●第3回フッ化物塗布モデル校実施のための意見交換会
- 12日(日) ●日本歯科衛生士会定時代議員会・会長表彰・武井典子会長を偲ぶ会
- 15日(水) ●兵庫県歯科衛生士連盟との打合せ
- 16日(木) ●第1回乳幼児期からの歯及び口腔保健対策推進会議
- 19日(日) ●第11回定時総会
- 23日(木) ●歯科衛生士による認知症対応検討会議
- 30日(木) ●こうべ市歯科センター 歯科保健衛生連絡会
- 7月 2日(土) ●7月三役会
- 3日(日) ●第37回歯科医学大会
- 13日(水) ●芦屋市保健事業連絡協議会
- 16日(土) ●兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会定時総会及び第2回理事会
- 20日(水) ●神戸市歯科口腔保健推進検討会議
- 21日(木) ●歯科訪問診療推進会
- 24日(日) ●創立100周年・社団法人設立60周年・協同組合設立30周年記念式典並びに祝賀会
- 27日(水) ●森岡典子氏(初代会長)への特別名誉会員証の授与
- 29日(金) ●兵庫県・播磨広域合同防災訓練
- 第2回全体会議・関係機関打ち合わせ会(避難所設置運営関係)
- 31日(日) ●第1回支部長会
- 8月 4日(木) ●第1回神戸市歯科口腔保健推進懇話会
- 6日(土) ●8月三役会、第3回常務理事会
- 22日(月) ●令和5年度要望書・基金事業説明
- 26日(金) ●令和5年度要望書提出・基金事業説明
- 28日(日) ●(公)兵庫県放射線技師会
播磨利光氏瑞宝双光章受賞記念祝賀会
- 30日(火) ●兵庫県医療職団体連絡協議会役員会
- 9月 2日(金) ●第3回兵庫県歯科衛生士センター事業調整
- 3日(土) ●9月三役会
- 4日(日) ●兵庫県・播磨広域合同防災訓練
- 9日(金) ●兵庫県予算編成に関する要望と意見交換(兵庫県歯科衛生士連盟に同席)



厚生労働大臣表彰を受賞しました。



公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会
会長 高橋 千鶴

本会が、厚生労働大臣表彰を令和4年10月29日に群馬県高崎芸術劇場において受賞いたしました。次世代に繋がる可能性のある活動が評価されたことと信じています。それぞれの地域や支部における長年の会員の皆様の一人ひとりの活動が評価されたものと心より感謝申し上げます。

今年度の新たな事業は、県から委託を受けて「歯科衛生士のための認知症対応力向上研修会」をサテライト開催しました。グループワークでは、歯科診療所等での早期発見・早期対応について活発な意見が出され101名の修了者に兵庫県知事から修了証書が交付されました。

また、県の補助事業として「歯科診療所等における認知症対応調査及び事例集事業」を実施することになりました。

8月は、兵庫県知事宛てに令和5年度予算などに関する要望書を提出しました。また、次年度事業となる基金事業案3事業を提出しました。

9月は、兵庫県歯科衛生士センター運営協議会を22日に開催し、3年間の報告とペアマスコット名を決定しまし

た。6歳から91歳までの910名の応募があり、当初は、ペア名のバランスの心配をしていましたが、最終的には、協議会の構成メンバーの選出の結果、それぞれの最高点がバランスのとれたマスコット名に決定しました。

また、今年制定された条例で位置づけられた「兵庫県歯と口の健康づくり啓発月間」の行事として「歯及び口腔の健康づくり推進大会」が兵庫県民会館けんみんホールにて開催されました。大会では、マスコット名の表彰と「歯と口川柳」コンテストの結果は、知事賞、兵庫県歯科医師会長賞、兵庫県歯科衛生士会長賞、兵庫県歯科技工士会長賞、アース製菓賞がそれぞれ紹介され、兵庫県歯科衛生士会長賞は、患者様とかかりつけ歯科医・歯科衛生士との関係性の長さや深さのわかる理想的な句を選びました。本会は、「歯科衛生士になってみよう」(大人も可)も出展しました。

次年度も月間行事が開催されます。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

表彰

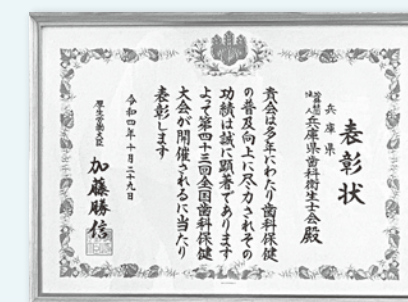
10月に受賞しました。



会場の様子

令和4年度 歯科保健事業功労者厚生労働大臣表彰

公益社団法人兵庫県歯科衛生士会



公益社団法人
兵庫県歯科衛生士会

〒650-0003 神戸市中央区山本通5-7-18 兵庫県歯科医師会館3F
TEL 078-341-6471 FAX 078-945-7871
E-mail: hdha@silver.ocn.ne.jp https://hyogo-dh.or.jp



兵庫県歯科衛生士会
事務所内



兵庫県歯科衛生士センター
https://hyogo-dh.or.jp/dhc
登録もこちらからどうぞ



ひょうご歯科衛生士
人材センター無料職業紹介所

http://zinzai.hyogo-dh.com

森岡典子氏に 特別名誉会員証 授与

7月27日(水)、故森岡氏への特別名誉会員証をお渡ししました。

森岡氏は兵庫県歯科衛生士会の初代会長として、諸先輩方の先頭に立って本会の礎を築かれました。

いつも歯切れよい挨拶が印象に残る、周囲を明るく導いて下さる方でした。あらためて、これまでの業績に感謝申し上げますとともにご冥福をお祈りいたします。



神戸市東灘区開業の森岡聡先生に、特別名誉会員証と写真をお渡ししました。

令和5年度予算などに関する要望書

要望事項

1. 徹底した感染予防対策の経験を生かした「口腔健康管理」の推進

- (1) 重症化を防ぐ介護予防(オーラルフレイル・フレイル予防)及び糖尿病やその他の生活習慣病の重症化予防に向けて地域における積極的参画
- (2) 「急性期病院及び回復期病院における口腔健康管理」体制の整備に向けて歯科衛生士の適正配置及び専門職の役割の周知
- (3) 歯科の配慮を要する方への歯科衛生士の訪問体制の整備
- (4) 介護保険施設及び障害児(者)入所施設における安定した口腔健康管理の提供
- (5) 歯科診療所等における認知症対応力をいかした口腔健康管理による、認知症重症化予防

2. 兵庫県歯科衛生士センター運営の継続及び拡充

- (1) 兵庫県・市町への歯科衛生士の適正配置及び市町事業への人材の紹介及び育成
- (2) 人材育成及び復職支援・離職防止に向けた情報の発信
- (3) 当センター及びひょうご歯科衛生士人材センター無料職業紹介所の周知

3. 歯科衛生士養成課程の充実

県立学校に歯科衛生士養成課程を新設し、段階的に大学院を整備することを要望する。

4. 災害支援の歯科保健医療の提供体制の確保

災害発生時だけでなく中長期的な歯科保健医療サービスの提供体制及び平時からの体制を整備する。

兵庫県に詳細を説明した上で提出しました。

歯科衛生士のための 認知症対応力向上研修会

日時 令和4年7月10日(日)10:00~16:00

場所 **メイン会場** のじぎく会館 大ホール(神戸市)
サテライト会場 県立但馬長寿の郷(養父市)



舟川 格氏



前田 和美氏



講義1 「認知症の基礎知識 アルツハイマー型認知症を中心に」

舟川 格氏
三田高原病院・医師

講義2 「認知症を取り巻く多職種連携と社会資源」

前田 和美氏
兵庫県立尼崎総合医療センター
認知症疾患医療センター・看護師

講義3 歯科衛生士による認知症支援の事例紹介

吉良 そのみ氏
特定研修委員会

グループワーク

「歯科衛生士が気づきつなげるため」の支援について

兵庫県より委託を受け、神戸市と養父市の2か所で集合型の研修を行いました。初めての開催でしたが、メイン会場81名、サテライト会場19名と多くの参加がありました。

認知症サポート医の舟川氏より認知症の多くを占めるアルツハイマー型認知症の基礎知識について、センターの相談員である看護師の前田氏より認知症を取り巻く多職種連携と社会資源についてご講演いただきました。

午前中の講演を受けて、午後からのグループワークでは参加者の勤務経験をもとに活発な意見交換が行われ、最後にグループごとに発表しました。歯科衛生士は患者さんとの関わりの中でさまざまな視点から認知症の疑いに気がついていることを改めて感じ、他職種へつなげることの大切さを学んだ研修会でした。

卒後研修必修プログラム 基礎研修

令和4年度卒後研修必修プログラムは、残すところあと3回となりました。夏からの開催は、ベーシックコースが8月/10月、アドバンスコースが6月/7月/10月の計5回行いました。ベーシックコースは受講者44名・修了者3名、アドバンスコースは受講者47名・修了者12名でした。ベーシックコースは11月が最終回となるため、多くの修了者の参加に期待しています。今年度は遠方の方や女性のライフステージに合わせた研修会スタイルを考えてリモート開



ベーシックコース配信風景

催も続けました。講師の先生方からも受講生の向学心に驚嘆の言葉をいただくほど、10時から15時半までの長丁場な研修会ですが皆さまは熱心に学習されています。歯科衛生士の専門性の強化を考えて計画した今年度のプログラムですが、受講生が社会にアウトプットできる充実した内容を今後も計画したいと考えています。(各コースの受講日程、申し込み方法等は本会HPにてご確認ください。)



アドバンスコース受講風景

歯科衛生士復職支援講習会 基礎研修

第1回

日時 令和4年6月26日(日)10:00~13:00

場所 スペースアルファ三宮

近年の歯科衛生士の職域について(地域歯科保健活動編)

- ① 地域における歯科保健活動乳幼児健診や学校・園における歯科保健指導について
- ② 介護予防事業オーラルフレイルチェックについて(実習有り)
- ③ 兵庫県歯科衛生士センターについて
- ④ ひょうご歯科衛生士無料職業紹介所の案内

第2回

日時 令和4年10月16日(日)13:30~16:00

場所 姫路市歯科医師会館

- ① 講義「歯周病治療について」
- ② プロローピングとPMTC実習
- ③ 就活フェア体験
- ④ 求職相談



講義



実技

今年度の復職支援講習会では、近年の歯科衛生士の職域をテーマに、第1回はオーラルフレイルについての講義と、各機器を使って口腔機能の低下を計る実習を行いました。

また、地域活動の様子を、動画や実際に使用している媒体で見ることができました。

第2回は姫路市歯科医師会館で開催しました。歯周治療の基本知識の講義と、ファントムでプローピング及びポジショニングの実習をしました。現役の教務の先生方による有意義な指導は、もう一度歯科衛生士をやりたい!の気持ちを押し進める大きな一歩となりました。

県歯科医師会の就活フェアにも参加し、医院の特長や仕事の内容などを分かりやすくお話していただきました。

ぼうさいこくたい2022

10月22日、23日、秋晴れの汗ばむ陽気の中、8団体の共同出展という形で、歯科衛生士会では、わたしの健口手帳(簡易版)や歯ブラシなどの入った【お口の防災グッズ】を渡しながら、非常袋の中に口腔ケアグッズを入れる重要性をお話しました。

非常袋は用意していても、口腔ケアグッズが入っていない方も多くおられ、避難時に健口を保つことが命を守ることに繋がるということをもっと浸透させていかなければと思いました。



【お口の防災グッズ】配布中



近畿デンタルショー 2022

9/24、25に大阪中之島のグランキューブ大阪で近畿デンタルショーが開催されました。

まずは、歯科衛生士会のブースで大阪府の役員さん達と写真をパチリ。その後、気になるブースに立ち寄りしました。やはり、実際に手にとって使い心地を確認できるのは良いですね。3年ぶりの開催でしたが、会場は盛況で人が集まる楽しさを感じました。



神戸支部

訪問口腔ケア推進事業や地域拠点型一般介護予防事業、各区での多職種連携など、積極的な活動をしています。今年の夏休みはコロナ禍で延期や中止が続いていた特別普及啓発事業として、市内の数カ所の児童館にて健康教育を行いました。子ども達や指導員から、楽しく歯や口の健康について学ぶことができた、うれしい感想をいただきました。また事前準備や当日の出務を通して会員同士の信頼感が深まり、有意義な事業となりました。



阪神北支部

阪神北支部では、初めてハイブリッド形式での支部総会を企画し、支部役員や多くの支部会員の皆様のご協力のおかげで無事に総会を終えました。オンラインカフェとしてアース製菓の前田かほる氏に新商品の説明をしていただき、久しぶりに会員同士が再会した皆さんの笑顔の見られる機会となりました。



阪神南支部

今年は3年ぶりに西宮の看護フェスタに参加したり、保育所などでブラッシング指導を行い、活動の機会が増えました。8月の支部研修会は福本めぐみ先生の保険点数についてのお話でした。先生の実際の症例(歯周治療)から治療の流れに沿って、初歩的なことから教えていただきました。12月11日(日)には、阪神北支部との合同研修会で兵庫医大の野口一馬先生にお話をいただきます。皆さん、どうぞご参加ください。



東播磨支部

東播磨支部の活動は主に、保育園や幼稚園、小中学校の歯科保健教育や高齢者対策事業です。コロナ禍の影響で、歯科受診控えや外出自粛から口腔機能低下が問題となっており、オーラルフレイル対策や地域ケア会議でも、口腔健康管理や歯科定期受診の大切さの啓発に努めています。人生100年時代に向け、力を合わせてがんばります。よろしくお祈りします。

支部活動紹介



北播磨支部

北播磨支部は、行政と連携して乳幼児の健診、妊産婦・町ぐるみ健診や高齢者のフレイル教室など幅広い年齢の方に歯科保健活動を行っています。今年度は、多可町で行われた兵庫県・播磨合同防災訓練に参加しました。人として歯科衛生士として成長し地域に根差した活動ができることを目指しています。



西播磨支部

兵庫県最西端の西播磨支部は、面積が広くそれぞれの地域性に富み、高齢化が進んでいます。診療所に勤めながら活躍する会員も多く、お互いの経験を分かち合いながら和気あいあいとしているのは、西播磨という地域性かもしれません。これからも地域で必要とされる歯科衛生士として支部会員一同、研修会などによる研鑽と、地域歯科保健活動に努めて参りたいと思います。

丹波支部

丹波支部では、指定障害者通所サービス事業所の看護師、生活支援員5名に講話を行い、利用者さんへの声かけ用に掲示できるイラスト入りの資料、フロスをお渡ししました。また、ティーンズの健口教育では東雲高校の14名を対象に行い、リーダーチャートの作成やフロスの使用方法を指導しました。それぞれの参加者との交流を通じて、小さなことからコツコツと実行していく大切さを感じ、充実した時間を過ごしました。



中播磨支部

中播磨支部は、お口の健康について様々なツールを用いて普及啓発を行っています。コロナ禍以降はリモートでの配信講義も行い、また研修会もリモートで行っています。最近ではオーラルフレイル予防の講義を高齢者の通いの場でお話する機会が増えました。一緒に活動して下さる方を募集しています。興味のある方はぜひお問合せください。お待ちしております。



但馬支部

但馬支部は、兵庫県の北部で県全体の約4分の1の面積を占める広大な地域です。移動もかなり大変で、旧支部地域ごと(北但馬地域、西南地域)で活動しております。コロナ禍で会員同士が顔を合わせる機会が少ないですが、3年ぶりに「まるごと感動市食の祭典inあさご」の大きなイベントが11月に開催されます。地域の皆様に歯科口腔保健に関心を持っていただけるよう、会員の交流も深めながら啓発活動を行っていきたいと思います。



淡路支部

淡路支部は、ライフステージに応じた歯科保健講話等の活動を行っています。今年度は、要支援や要介護高齢者に目を向け圏内2市の地域個別ケア会議に参加させていただき、歯科衛生士の視点で支援出来ることを考え学んでいます。またオーラルフレイルや口腔機能障害についてより一層理解を深めたく神戸常盤大学の高橋由希子教授を講師にお迎えし研修会を開催しました。



第1回支部長会

日時 令和4年7月31日(日)10:00~12:30
場所 兵庫県歯科医師会館 (リモート型・Zoomミーティング)

今年度、最初の支部長会はコロナ7波の影響で、各自の自宅からZoomミーティングで行われました。支部活動は、外部からの依頼が減り縮小していますが、市町の事業は継続しており、特に地域ケア個別会議に出席を依頼される市町が増え、他職種との交流なども少しずつ増えてきました。

研修会、勉強会も集合型やリモート型を工夫しながら、地道に開催されていますので、地元の支部会員の皆さん、どうぞご参加ください。



災害支援歯科衛生士研修会

特定研修

日時 令和4年9月11日(日)10:00~12:00
場所 兵庫県歯科医師会館(リモート型)

「非常時の備えと災害時における歯科衛生士の役割」

小平 博氏
兵庫県立淡路医療センター 救急科 部長
兵庫県医師会 統括JMAT・医師



小平 博氏

本会では平時の災害支援における意識の向上と組織力強化を目的に、災害支援歯科衛生士育成研修会を開催しています。今年度は小平氏に講演をお願いし、約70人がリモートでの研修を受講しました。

「災害医療と歯科とのかわり」をテーマに世界の災害、テロ、日本における自然災害について、医療とのかわりと、チームによる活動について、豊富な経験をもとに説得力のある講演をしていただきました。歯科衛生士に求められることを再確認し、考える機会となりました。また、日頃からの他職種との連携の重要性や大規模災害に対する意識の向上につながりました。

本会は平成7年1月17日の阪神・淡路大震災では被災地として歯科保健活動を経験し、全国各地で起こった自然災害においても歯科支援活動に関わってきました。これまでの被災地支援及び受援の経験から、大規模災害の備えとなる「兵庫県歯科衛生士会災害時行動指針」を平成30年に作成しました。この指針は、歯科衛生士として平時からの心構えとして、大規模災害が発生した時の診療所や自宅における安全行動と、支援活動への参加準備を記載しています。また、災害時において、迅速に支援体制が取れるように、支部会員の連絡網整備と連絡方法なども整備しています。

障がい者研修会

専門研修

日時 令和4年8月7日(日)10:00~12:00
場所 兵庫県歯科医師会館 (リモート型・Zoomミーティング)



水上 美樹氏

「ダウン症の子どもの摂食嚥下リハビリテーション」～食べる機能と獲得するための歯科衛生士の考え方と対応～

水上 美樹氏
日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック・歯科衛生士

今年度の専門研修会は障がい者の中でもダウン症児にスポットをあて水上氏にご講演いただきました。当初、県内3カ所をサテライト会場として、東京から水上先生にご講演いただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大をうけ直前にリモート配信に変更になりました。また今回の研修会は実習単位申請があるた

め、受講者のお顔や演習の様子を見ることができるZoomミーティングとなり78名の方が受講されました。

ご講義では、最初にダウン症についてわかりやすく説明いただきました。「近年の医療技術の進歩により、生命予後は1929年では9歳であったが、現在平均年齢は60歳を超えている。」「思春期以降にみられる急激退行により、動作の緩慢、会話の減少、対人関係の難しさ、肥満や内臓疾患やうつ症状などがみられる。」「ダウン症の口腔の特徴として舌筋の緊張低下による低位舌や鼻呼吸困難による口唇閉鎖不全などがみられるため、リハビリテーションを行う際に原因の確認が必要であり、個々に応じた食形態の調整も重要である。」などのお話しが印象に残りました。

演習では、間接訓練として口唇訓練や舌訓練・頬訓練、また直接訓練としてするめスティックを用いました。受講者が様々な訓練を実践されている様子も、モニターを通して拝見することができました。

コロナ禍において実践技術を学ぶ機会が減少しているため、リモート研修会でも可能な演習を取り入れる研修会の開催を今後も検討していきたいと思ひます。

生涯歯科保健研修会

専門研修

日時 令和4年9月25日(日)10:00~15:00
場所 兵庫県歯科医師会館(リモート型)

講演1 「訪問で出会う認知症の人たち、その人生を支えるための食支援」

枝広 あや子氏
東京都健康長寿医療センター 研究所・歯科医師



枝広 あや子氏

講演2 「在宅療養を支える食と栄養の支援」

時岡 奈穂子氏
はみんぐ南河内
認定栄養ケア・ステーションカラフル・管理栄養士



時岡 奈穂子氏

枝広氏は、実際に訪問診療を行っておられる歯科医師であり、研究者でもあるので、認知症の方への支援の方法や歯科対応のご講義は具体的で、かつ、その内容には根拠がありとても論理的なものでした。日々の診療にすぐに役立つことに加えて、認知症の方が最期まで「生ききる」ことの支援、別れの時を支える口腔のケアも教えていただきました。

時岡氏は、管理栄養士の視点から在宅療養者の暮らしの中で栄養をどうとらえ、地域でどう関わっていくのかなどを丁寧にご講義いただきました。口から食べることは、幸福を得ることが出来る大切なツールで誰にでも与えられた平等のものであり、食支援とは患者さんと患者さんを取り巻く様々を一つの物語として理解し、患者さんにとって最善の方法を見出すことが大切であることを教えていただきました。

両講義とも、歯科衛生士にとって多くの気づきや学びにつながる有意義な時間になりました。

定時総会後研修会 専門研修

日時 令和4年6月19日(日)14:30~16:30
場所 兵庫県歯科医師会館
 (サテライトおよびリモート型)



大城 暁子 氏

「小児の摂食嚥下と口臭」

大城 暁子 氏
 東京医科歯科大学病院 息さわか外来 特任助教・歯科医師

今回は、サテライト会場36名、リモート65名、計101名が受講しました。

大城氏から、真性口臭症のほとんどは舌苔が起因し、6歳児の症例で咀嚼不良から舌苔付着となり口臭が生じることを学び、口腔機能との関連性を学びました。今後さらに着目し口腔内を観察していきたいと思います。



第37回 歯科医学大会 特定研修 歯科衛生士講演

日時 令和4年7月3日(日)13:00~15:00
場所 兵庫県歯科医師会館
 (サテライトおよびリモート型)



尾形 祐己 氏

「小児の口腔健康管理について」 ~看護師・歯科衛生士の両視点から~

尾形 祐己 氏
 大阪歯科大学医療保健学部 口腔保健学科 助教・歯科衛生士・看護師

現在、全国で男性の歯科衛生士は38人。尾形氏はそのひとりで看護師でもあるため、両視点からの貴重なお話でした。

近年は、看護師の国家試験に歯科が出題され、看護雑誌に摂食嚥下の記事が掲載されるなど口腔健康管理への関心が高まっていることや、小児病棟でのさまざまな症例を通じて、口腔内の状態から原因や対応方法を考え、患者の背景に気づく大切さについてお話されました。

最後に、社会的な問題の虐待やヤングケアラーについては、歯科医療者として虐待が疑われる場合は通告の義務があること、ヤングケアラーには声掛けをすること、様子を見て話を聞くだけでも支援になることなど、生活を見据えた現実的な支援が必要であると締めくくられました。

のぞいてみよう 本会委員会活動 ~普及啓発委員会~

昨年度再編した常任委員会について紹介しています。

【普及啓発委員会】 原田 さとみ 理事
 普及啓発委員会と聞くと、県民の皆さんに向けているいろいろな情報を発信しているイメージですが、具体的にどのような活動を行っているのですか？

生涯にわたる「健口づくり(口腔健康維持・増進)」を県民の方々にイベントなどで発信しています。

具体的には「歯っぴいスマイルフェスティバル」や「健康公開講座」を企画実施しています。

今年度は3年ぶりに「歯っぴいスマイルフェスティバル」を王子動物園内で開催することができました。

12月には県民公開講座として「高齢者のインプラント治療の基本」と題して神戸大学大学院の長谷川先生にお話しいただきます。

多くの県民に歯と口腔の健康づくりの大切さを伝えられたらと思っています。

普及啓発の今後の活動についてお聞かせください。

来年も「歯っぴいスマイルフェスティバル」をはじめ、楽しく健口づくりを発信できるイベントを企画していきます。

イベントは県民と直接ふれあえる発信の場でもあります。イベント実施に協力していただいた会員同士の交流の場にもなっています。

これからも皆様のご協力とご参加をよろしくお願いいたします。



歯及び口腔の健康づくり推進大会にて▶

— 兵庫県歯科衛生士センター主催 — 多職種連携研修会

日時 令和4年10月9日(日)13:00~15:30
方法 兵庫県歯科医師会館 リモート型



東根 聖子 氏



中村 浩子 氏



名前が決定!
 はみいとびかるんです。
 よろしくね!

講演1 「在宅における高齢者の身体的特性や疾病について
 ~よりよく過ごせるためのケアや関わりについて考える~」
 東根 聖子 氏
 尼崎訪問看護ステーション 所長・看護師

講演2 「在宅要介護高齢者の生活と専門職の関わりについて」
 中村 浩子 氏
 地域包括支援センターかこがわ北主任介護支援専門員
 兵庫県介護支援専門員協会 常任理事
 元職歯科衛生士・社会福祉士

今回は、参加者72名(内会員外2名)のリモート型で研修会を開催しました。

東根氏は、訪問看護を行う看護師の立場から、在宅の高齢者の状態に合わせたケアや関わりについてご講義くださいました。認知症の場合の食事支援や廃用症候群での見取りの症例など、訪問看護の幅の広い内容を知りました。高齢者の疾病や身体的特性に合わせた対応ができる歯科衛生士

を目指したいと思いました。

中村氏は、主任介護支援専門員としてご活躍され、元歯科衛生士という経歴をお持ちです。在宅介護高齢者の現状を、事例を交えて具体的にご講義いただき、認認介護、老老介護の問題点もお話しくださいました。多職種と連携を取りながら活動するために、日々の学びを重ねていきたいと感じました。

みんなで WAIWAI コーナー

職場紹介リレー



神戸支部
 M.N.

私は、神戸市東灘区の非抜歯での治療を行う矯正歯科で勤務しています。卒業15年間は一般の歯科や口腔外科で勤め、3年余りに現在の職場に変わりました。当初は学校で学んだ遠い過去の知識しかなく、専門書やサイトで学びなおし、院長の指導を受けながら仕事を身に着けました。

現在の職場では大半が子ども達なので、待合室での待ち時間を持って余さないようにゲーム機が設置してあり、

院長の趣味も反映した楽しい雰囲気です。成人の患者さんは、50代のミドルエイジの方々が多く来院されています。

コロナで長引くマスク生活の中、従来のワイヤー矯正に加えて最近のインビザライン(マウスピース矯正)を希望される方も増加しています。12月には近隣へ移転し、規模拡大しての診療となります。新しいスタッフを現在募集中であり、新たな環境で新しいことにも挑戦しようと考えています。

難問? 何問解けるかな?

／ やってみよう /

第31回 歯科衛生士国家試験問題

(午前)

問題23 災害時の保健活動の一例を表に示す。

保健活動フェーズ	フェーズ0	フェーズ1	フェーズ2 → フェーズ3 → フェーズ4
	発災から24時間以内	発災から72時間以内	フェーズの変化は状況に応じて判断
活動の場	医療救護所 避難所/テント・車中泊		避難所 仮設住宅 被災地域

フェーズ4での活動はどれか。1つ選べ。

- a 傷病者救護
- b 災害拠点の設置
- c 生命・安全の確保
- d 健康な生活活動への支援

問題52 55歳の男性。舌癌のため、全身麻酔下で舌部分切除術を受けることになった。化学療法と放射線療法の予定はない。歯科医師から専門的口腔衛生処置を行うよう指示を受けた。これにより予防できるのはどれか。2つ選べ。

- a 口腔乾燥
- b 誤嚥性肺炎
- c 手術創感染
- d 唾液分泌障害

問題58 右大脳の脳梗塞によって左片麻痺が出た場合、麻痺以外に生じやすい症状はどれか。1つ選べ。

- a 言葉を話せない。
- b 言葉を理解できない。
- c 空間の左側を認識できない。
- d 目的に合った行動ができない。

問題82 小学校低学年を対象とした集団歯科保健指導を行うことになった。留意すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 歯周炎
- b 歯の交換
- c 口腔の外傷
- d 第一小臼歯のう蝕

(答えはページ下をご覧ください)

「みんなでWAIWAIコーナー」は会員交流の場で 会員の皆さんの投稿をお待ちしています

身近な地域でのイベント、趣味、旅行、職場でのエピソードなどお待ちします。HPのライドショーに掲載する写真も募集しますので、お勧めのスポットなどご紹介ください。なお文章、写真とも未発表のものに限りです。

応募方法

兵庫県歯科衛生士会 事務局まで
【兵衛だより WAIWAIコーナー・作品応募】とご記入の上、下記を本文に入力、添付してください。

- ① 支部名(作品と一緒に掲載します)
- ② 会員氏名(イニシャルにて掲載)
- ③ 希望する方はペンネーム
- ④ 作品、あれば題名等

e-mail:hdha@silver.ocn.ne.jp

投稿募集

